

主催事業

申込が必要なものは、広報なごやHPでお知らせします。

事業名	対象	内容	日程	問合せ先
ふれあいトーク「ウナギの魅力」	どなたでも	食べておいしい「ウナギ」の生態やウナギまつわる文化などを紹介します [講師：水産ライター 新美貴子さん]	7月18日(土)	①
干潟体験	小学校4年生～大人 (小学生は保護者同伴)	干潟に入り、生きものを観察してその生態を学びます	7月21日(火) 8月4日(火)	①
ひがたにくるトリ、どんなトリ?	小学校1～3年生 (保護者同伴)	野鳥観察をした後、カモのミニ模型へ色塗りをします [講師：ハンドメイド作家 Cha Chattoさん]	8月5日(水)	①
干潟を音であそぼ ～タイココミュニケーション～	小学生 (保護者同伴)	干潟と音楽を組み合わせたイベント [講師：パーカッションスト 本多"laco-bow" 正典さん]	8月13日(木)	②
干潟(ヨシ原)の人気者 カニとトビハゼに会おう!	小学校4年生～大人 (小学生は保護者同伴)	ヨシ原の中に入って、生きものを観察してその生態を学びます	10月3日(土)	①
ひがたにくるトリ、どんなトリ?	どなたでも	干潟の野鳥紹介の後、鳥のミニ模型へ色塗りをします [講師：ハンドメイド作家 Cha Chattoさん]	11月14日(土)	①
マイクロプラスチックに関する講演	どなたでも	大きな環境問題となっている「マイクロプラスチック」に関する講演	12月4日(金)	②
藤前干潟映画会「蟹の惑星」	どなたでも	干潟に関する映画を上映します	2月6日(土)	①

協力事業

事業名	主催・問合せ先	日程
20'秋の藤前干潟グリーン大作戦	藤前干潟グリーン大作戦実行委員会 ⑤	10月31日(土)

パートナーシップ事業

パートナーシップ事業については、個別にお問い合わせください。

事業名	主催・問合せ先	日程
企画展「干潟のベントス展」	藤前活動センター	④ 7月25日(土)～12月13日(日)
企画展「干潟の小さな生きものたち」	稲永ビジターセンター	③ 7月25日(土)～12月20日(日)
夏休み! 干潟観察会 ～干潟の穴掘り名人たち～	藤前活動センター	④ 8月22日(土)
秋の野鳥写真展「藤前干潟の野鳥たち」	名古屋市野鳥観察館	⑥ 8月22日(土)～9月27日(日)
石ころ干潟観察会 ～くつつく生きものたち～	NPO法人 藤前干潟を守る会	⑦ 9月6日(日)
干潟の小さな生きもの探し!	稲永ビジターセンター	③ 9月27日(日)
カニダンスを見よう!	稲永ビジターセンター	③ 10月17日(土)
石ころ干潟観察会 ～カニさん探し!～	藤前活動センター	④ 11月15日(日)
愛岐の里山たいけん隊～秋の里山にいこう!～	「なごや環境大学」実行委員会、 名古屋市愛岐分館、名古屋市環境学習センター	⑧ 11月予定
石ころ干潟観察会 ～小さなお生きもの探し!～	NPO法人 藤前干潟を守る会	⑦ 12月12日(土)
環境省レンジャー写真展2020 in 木曾三川公園センター(海津市)	環境省名古屋自然保護官事務所	② 2月予定
藤前干潟写真展 in 飛島村ふれあいの郷	環境省名古屋自然保護官事務所	② 2月予定
渡り鳥調査隊 ～藤前干潟の野鳥を観察しよう～	名古屋市野鳥観察館	⑥ 下表のとおり

*パートナーシップ事業を随時募集しています、詳しくは①にお問い合わせください。

渡り鳥調査隊

日程・時間
2020年
7月18日(土) / 10時～12時
8月29日(土) / 10時～12時
9月19日(土) / 10時～12時
10月17日(土) / 10時～12時
11月14日(土) / 10時～12時
12月12日(土) / 10時～12時
2021年
1月30日(土) / 10時～12時
2月13日(土) / 10時～12時
3月27日(土) / 10時～12時

問合せ先	TEL	Eメール
① 藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局 (名古屋市環境学習センター内)	052-223-1067	a2662@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
② 環境省名古屋自然保護官事務所	052-389-2877	WB-NAGOYA@env.go.jp
③ 稲永ビジターセンター	052-389-5821	—
④ 藤前活動センター	052-309-7260	—
⑤ 藤前干潟グリーン大作戦実行委員会事務局	—	cleanupfujimae@gmail.com
⑥ 名古屋市野鳥観察館	052-381-0160	nagoya.kansatukan@car.ccn.ne.jp
⑦ NPO法人 藤前干潟を守る会	080-5157-2002	info@fujimae.org
⑧ 「なごや環境大学」実行委員会	052-223-1223	jimu@n-kd.jp

2020年度

藤前干潟 ふれあい 事業

Plastics Smart



ぜひ

藤前干潟に
足を運びください



藤前干潟の魅力を皆さんにお伝えしたくて
名古屋市、環境省、NPO等が
協力して様々なイベントを行っています!

お問い合わせ先

藤前干潟ふれあい事業実行委員会
(事務局：名古屋市環境学習センター)
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階 名古屋市環境学習センター内
TEL:052-223-1067 FAX:052-223-4199
Eメール:a2662@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

(Eメール)



(ウェブサイト)



藤前干潟ふれあい事業

検索





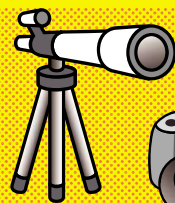
写真展

写真から野鳥や藤前干潟の魅力がたっぷり伝わってきました。

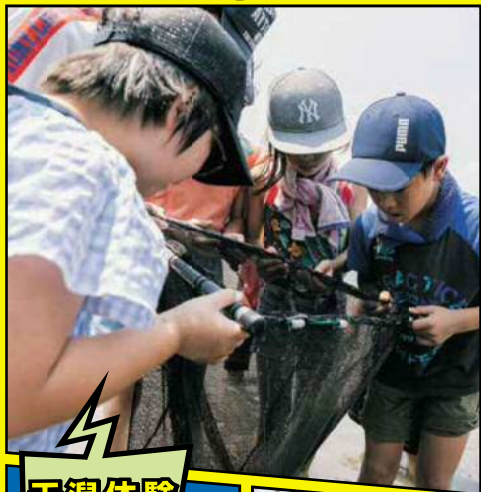


ワークショップ

鳥の模型に色を塗ったり、鳥の絵を描いたり、さらには音楽の演奏も?! いろいろな体験をとおして藤前干潟とふれあいました。



イベントの様子をのぞいてみよう!



干潟体験

たくさんの干潟の生きものと出会うことが出来ました!
今年とはどんな生き物に出会えるのでしょうか?



実際に生き物にふれたり、まったり飲み物を飲んだり... 様々な手法でじっくり藤前干潟のお話を聞くことが出来ました。

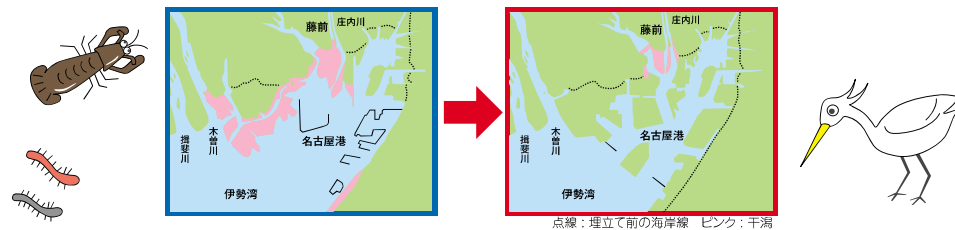
講演 サイエンスカフェ



藤前干潟の歴史

～守られた干潟を未来へつなく～

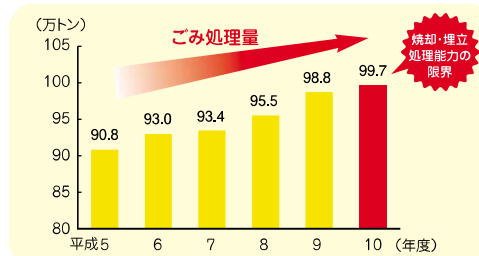
その昔、伊勢湾の奥には広大な干潟が広がっていました。しかし新田開発や工業用地として徐々に埋立てが進み、最後にかろうじて残されたのが藤前干潟です。



点線：埋立て前の海岸線 ピンク：干潟

しかし、その残されたわずかな干潟にも埋立ての危機が訪れます。ごみの埋立処分場とする計画が発表されたのです。

当時の名古屋市は年々ごみが増え続け、今まで使用していた埋立処分場ではもうわずか数年で埋める場所が足りなくなると予想されたため、新しい埋め立て場所が必要だったのです。



それでも、藤前干潟は渡り鳥をはじめ多くの生きものが生息する大切な場所であったため、守る必要があるとの市民の声が高まりました。

名古屋市は悩みに悩んだ結果、「ごみの処理も渡り鳥もどちらも大切」として、平成11年1月に、埋立計画を中止し、2月にごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を出しました。

そこから市民、事業者、行政が一体となった徹底的な分別・リサイクルの取り組みが始まり、その結果、今では埋め立て量も5分の1以下にまで減少しました。

多くの人々の協力のもとに守られた藤前干潟ですが、近年話題となっている「海洋プラスチック」によるごみ問題も藤前干潟と無関係ではありません。これからも引き続き藤前干潟を守るため、名古屋の環境のため一人ひとりが分別・リサイクルなどの環境保全活動へ取り組むことが大切です。



埋立量の推移

